

会 議 録

会議名	平成 23 年度第 10 回小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	平成 24 年 3 月 27 日(火) 19 時 00 分～20 時 40 分	
開催場所	501 会議室	
出席者	委員	高橋委員長、鴨下委員、原島委員、三井委員、堀米委員、中山(岳)委員、水谷委員、千野委員、齋藤委員、曾我委員、深澤委員、小澤委員、仙澤委員、中山(恵)委員
	事務局	越学童保育係長
会議次第	1 開会 2 議題 (1)学童保育の保育内容について (2)その他 3 閉会	
会議結果	1 はじめに(市) ・副市長 2 人、教育長 1 人体制となる。子ども家庭部の副市長は第 1 副市長として上原が担当する。 ・平成 24 年度学童保育所指導員の異動について、若干の内部異動を行う。 ・異動内示があった中で、学童保育係主査が 1 人増え、4 人となるため、小金井市学童保育所運営協議会設置要領も一部改正し、市側委員を 1 人増やすことで了承願いたい。	
	2 学童保育の保育内容について (1)ドッジボール大会について ・毎年、保護者のマナーが良くないよくないと聞いているので、対策として今年は学保連側で、腕章を付けた人を巡回させた。また、事前に学保連から保護者にメールを流し、注意を促した。(学) ・自転車の止め方について、開会までは駐輪場に職員を配置し案内できるが、競技が始まると職員不在となってしまう。途中から自転車で来られた方は、空いている所に止めることとなり、結果、本来駐輪スペースでないところに止める方もいた。公園側より数回注意があり、今後改善できたらと思う。(市)	
	(2)緊急対応について ・災害伝言ダイヤル(171をダイヤル)があるが、認知があまりされていないようだ。学保連主体として、4 月 1 日に災害用伝言ダイヤルの利用訓練を行いたい。訓練に当たり、学童保育所の電話番号をお借りし、実際に伝言を録音したいが良いか。(学) ・良い。(市)	

- ・今後、合同で訓練を行いたいかどうか。(学)
- ・4月に行う学保連の訓練をもとに、6月に予定してはどうか。(市)
- ・災害用伝言ダイヤルは録音と再生がある。保護者は学童保育所職員が録音したメッセージ聞くのみであるが、混同すると保護者がメッセージを録音しかねない。録音が上書きされてしまうと本来の伝言が聞けない恐れがある。(学)
- ・緊急対応マニュアルを学保連のホームページに載せて良いか。(学)
- ・良い。(市)

(3)あかね学童保育所の設計について

- ・あかね学童保育所の入所児童が110人近くいる中、どのような規模を予定しているのか。(学)
- ・現在建っている所での建て替えは建築基準法上出来ないと聞いている。場所については教育委員会や小学校側とも調整する必要がある。規模については協議しながら決めていく。(市)

(4)さくらなみ・たけとんぼ学童保育所の建替工事について

- ・さくらなみ・たけとんぼ学童保育所の建替工事について、天候不順により外部作業が終わらないため、工事期間を3月30日までに変更した。(市)

(5)非常勤嘱託職員のサブリーダー制について

- ・市の方で非常勤嘱託職員のサブリーダー制が検討されているようだが、学童保育指導員についてはどうなるか。(学)
- ・学童保育指導員は平成24年度該当職場になっていない。市内部で制度化され、該当となれば、業務内容について今後検討する必要があると思う。(市)

(6)「のびゆく子どもプラン 小金井」の報告

- ・該当する「学童保育を充実します」の中にある項目中、
 - ①「学童保育事業」:平成22～26年度で学年延長、時間延長を検討となっている。22年度の評価となると特にないが、23年度の夏休みより三期休業中の開所時間の前倒しが行われている。
 - ②「障害児保育の充実」:ある委員より、「受け入れ可能な障害児」となっているところ、「希望する障害児全て」と出来ないか、との意見があった。これに対して、学童保育所は集団生活の場であり、全てを受け入れるのは難しいのでは、と答えた。
 - ③「学童保育所の整備」:特になし。
- ・4年生以降の放課後の過ごし方について、調査の中では塾・習い事が1番多い。学保連の調査では、4年生も学童保育所に入所出来れば塾に行かせない、という保護者も多くいると聞く。(学)

- ・昔から要望があるが、現在のところ3年生までと整理している。他市では学年延長をしたとしても途中で辞めていく子が多いようだ。(市)
- ・必要な子もいると思うが、1～3年生でも100人を超える学童保育所もある中、どのように運営できるか。4年生となると6時限の授業もあり、集団生活をどのようにまとめられるか。(市)
- ・「のびゆく子どもプラン 小金井」は推進していかなくてはならないと思う。(学)
- ・時間延長、学年延長は学童保育とは別として考える必要があるのではないか。(学)
- ・受け入れとしては、放課後子ども教室もあるのではないか。学童保育所で4年生まで受け入れることとなったとしても、いつかまた5年生までの受け入れを、という話になる。(学)
- ・「のびゆく子どもプラン 小金井」推進市民会議を設置し、それぞれの項目について点検、評価していくこととなっている。検証しきれない場合、課題として残しても良いと思う。(市)
- ・受け入れ可能な障がい児に関してはどうか。(学)
- ・保育が保障されていれば良いのではないか。障がいがあることによって学童保育所に入れなくても、別のサービスがあればという考え方もある。(学)
- ・「のびゆく子どもプラン 小金井」は平成22から26年度までの計画として策定された。今回の推進市民会議では進捗状況のチェックということである。その中には、未実施等の理由の欄があり、学保連側からこういう考え方もある、とすることも可能ではないか。(市)

次回日程について

- ・次回日程 4月23日(月)19時から、802会議室。